

7月20日 柏崎市西山町

上越支部長 清水恵一

今回の地震の特徴は、固有周期の長い建物が被害を受けている事です。
地震スペクトルにもその傾向が表れているようです。
今日も同一地域内で50棟程調べてきましたが、こんな傾向があります。
瓦の屋根の主家が「赤の危険」で、簡易な構造の鉄板屋根の農作業場や物置が
「黄の要注意」、「緑の調査済」となっています。
軸組の剛性が明らかに強いと思われる瓦屋根の主家より、鉄板屋根の方が被害
が少なくなっています。
これは単に建物重量の問題だけでなく、固有周期の長周期化によるものと思
います。
この現象は土蔵にも現れています。
3年前の中越地震では、土蔵の土壁は剥落しましたが、倒壊していない土蔵が多
かった。
今回の中越地震は土壁は剥落し、倒壊しています。
これはおそらく長周期成分の力が悪さしているものと思います。
こんな事を今回の現地調査で感じました。